

MU-1N 受信専用機 使用上の注意

MU-1N 受信専用機: MU-1NR-429 に外部ゲインアンテナを接続して長距離通信や安定した通信を実現する事ができます。

MU-1N の受信専用機は送信動作を行いませんが、送信動作を伴うコマンドは絶対発行しないで下さい。
また、評価プログラムの機能の内、送信動作を伴うものは使用できませんので注意して下さい。

■評価プログラム使用に当たって

以下の機能は双方向機能を使用しているため使用しないで下さい。

1、コントロール&テストウインドウにある拡張機能

2、JPEG 画像伝送サンプル

3、エアーモニターにおける RSSI 絶対値は、接続するアンテナゲインによって無意味なものとなるので注意して下さい。

■コマンド発行制限について

以下のコマンドは使用する事が出来ません。

1、受信専用機側で発行するコマンドで送信動作を行なうコマンド。

・全データ送信コマンド

・テストコマンドで送信を行なうコマンド

 目的局全チャンネル RSSI 絶対レベル測定

 目的局 RSSI 絶対レベル測定

 パケット試験

・全拡張コマンド。

2、送信機側が発行するコマンドで、受信専用機が送信動作を行なうコマンド。

・データ送信で ACK レスポンスがあるもの

・テストコマンドで受信専用機が送信動作を行なうコマンド。

 目的局全チャンネル RSSI 絶対レベル測定

 目的局 RSSI 絶対レベル測定

 パケット試験

・全拡張コマンド

◇MU-1NR-429 のコマンド

MU-1N の受信専用機では以下の二重取消線があるコマンドは使用しないで下さい。

■ データ送信コマンドとデータ送信レスポンス

コマンド名	コマンド フォーマット	データ送信レスポンス フォーマット (コマンドレスポンス)
データ送信コマンド 1(中継機能なし)	@DT XXww...ww	*DT-XX
データ送信コマンド 2(中継機能あり、ACK なし)	@DT XXww...ww/R ※1	*DT-XX
データ送信コマンド 2(中継機能あり、ACK あり)	@DT XXww...ww/A ※2	*DT-XX
データ送信コマンド 3(中継機能あり、ACK なし)	@DT XXww...ww%R ※3	*DT-XX
データ送信コマンド 3(中継機能あり、ACK あり)	@DT XXww...ww%A ※4	*DT-XX

※1、2: 中継局にデータを出力するオプション/S、/B が有ります。

※3、4: 中継局にデータを出力するオプション%S、%B が有ります。

■ コントロールコマンド と コントロールレスポンス

コマンドタイプ	コマンド名	コマンド フォーマット	コントロールレスポンス フォーマット (コマンドレスポンス)
無線リンク関連 設定、取得 コマンド	ユーザ ID 設定	@UI XXXX,XXXX	*UI = XXXX
	グループ ID 設定	@GI XX	*GI = XX
	機器 ID 設定	@EI XX	*EI = XX
	目的局 ID 指定	@DI XX	*DI = XX
	中継ルート指定	@RT XX,XX,...XX	*RT = XX,XX,...XX
	使用チャンネル設定	@CH XX	*CH = XX
UART パラメータ 設定コマンド	UART ポーレート設定	@BR ww	*BR = ww
	UART ハリティ設定	@PB ww	*PB = ww
	UART ストップビット設定	@SB ww	*SB = ww
動作設定、 情報取得 コマンド	動作モード設定	@MD ww	*MD = ww
	コマンドモード入力待ち時間設定	@TC XX	*TC = XX
	バイナリーモード無入力時間設定	@TB XX	*TB = XX
	ルート情報付加モード設定	@RI ww	*RI = ww
	レスポンス表示モード設定	@RM ww	*RM = ww
	プログラムバージョン取得	@VR	*VR = XX ww...ww
	シリアルナンバー取得	@SN	*SN = wwwwwwww
	リセット	@SR	*SR = 00
	イニシャライズ	@IZ	*IZ = 00
	スタンバイモード設定	@SY XX	無し
	RSSI 情報付加モード設定	@SI ww	*SI = ww
	受信ルート情報利用設定	@RR ww	*RR = ww
	空中線電力低下装置設定	@PW ww	*PW = ww
	エラー訂正プロトコル設定※1	@EC ww	*WC = ww

※1: エラー訂正プロトコルがオフの状態を標準プロトコルといいます。

■ モニタコマンド と モニタレスポンス

コマンド名	コマンド フォーマット	モニタレスポンス フォーマット (コマンドレスポンス)	レスポンス タイプ
チャンネル状況取得	@CS	* CS = <u>ww</u>	無し
RSSI 絶対レベル測定	@RA	* RA = <u>XX</u>	無し
目的局全チャンネル RSSI 絶対レベル測定	@CA	* CA = <u>00</u>	レシーブレスポンス
目的局 RSSI 絶対レベル測定	@CR	* CR = <u>00</u>	レシーブレスポンス
全チャンネル RSSI 絶対レベル測定	@RC	* RC = <u>XX...XX</u>	無し

※ RSSI:受信信号強度

■ テストコマンド と テストレスポンス

コマンド名	コマンド フォーマット	テストレスポンス フォーマット (コマンドレスポンス)	レスポンス タイプ
テストデータ連続送信	@CT <u>ww</u>	* CT = <u>ww</u>	無し
パケット試験	@CP <u>XXww...ww</u>	* CP = <u>XX</u>	レシーブレスポンス

■ 拡張コマンド と 拡張レスポンス

コマンド名	コマンド フォーマット	拡張レスポンス フォーマット (コマンドレスポンス)	レスポンス タイプ
・目的局チャンネル変更 ・変更を内部の EEPROM に固定	@DT05@CHXX/C @DT07@CHXX/W/C	* DT05 * DT07	ACKレスポンス
・複数局チャンネル一括変更 ・変更を内部の EEPROM に固定	@DT05@CHXX/F @DT07@CHXX/W/F	* DT05 * DT07	コントロール レスポンス
目的局テストデータ発信	@DT05@CTXX/G	* DT05	ACKレスポンス
目的局リセット	@DT03@SR/C	* DT03	ACKレスポンス
複数局一括リセット	@DT03@SR/F	* DT03	コントロール レスポンス